

自然体験キャンプ

五感で楽しむ里山の夏

@

なみ滝藤原園

平成26年8月7日（木） ～ 10日（日）



3泊4日の自然体験キャンプでの経験を活かし、子どもたちが立派な大人に成長すること、大きくなって学んだことや感じたことが社会で輝くため、また生きがいややりがいをもって心豊かに生きるために役立つことを願っています。

もく てき
[目的]

1. 自然の美しさや不思議さを感じる感性を磨き、感動する心、自然を大切にすることを育てる
2. 準備から片付けまで子どもたちが行い、忍耐力、行動力、協調性、課題達成能力、生きる力を養う。



しどう
[指導スタッフ]

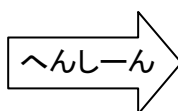
全体指導	NPO 法人メセナ SUN-CLUB 学びの森副理事長 <small>にしむらきよみ</small> 西村清巳
運営 & 活動指導	NPO 法人メセナ SUN-CLUB 学びの森スタッフ <small>くにまさゆうや</small> <small>わせたかずひろ</small> <small>ささきちえ</small> <small>にしむらひろし</small> 國政悠也 早稲田和宏 佐々木千恵 西村広志 <small>くわはらしょうこ</small> 桑原晶子
子どもの指導	広島大学学生 <small>ますだげんき</small> <small>ほりかねつかさ</small> <small>ほらななか</small> <small>みとゆりこ</small> <small>あんどうたかと</small> 柁田元気 堀金司 原菜花 三登百合子 安藤鷹斗 <small>つぼくらさき</small> 坪倉咲季
看護師	<small>よこたにあつこ</small> 横谷厚子

プログラム

	8月7日(木)	8月8日(金)	8月9日(土)	8月10日(日)
朝	<ul style="list-style-type: none"> ・始めの会 ・テント設営 ・野外料理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操 ・野外料理 ・朝食(ご飯、味噌汁、野菜炒め) ・虚空蔵山登山 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操 ・野外料理 ・朝食(サンドイッチ、コーンスープ、ヨーグルト) ・竹トンボ作り ・野外料理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操 ・野外料理 ・朝食(ご飯、ハムエッグ、味噌汁) ・後片付け&掃除 ・おやつ(スイカ) ・終わりの会 ・スイカ割り
昼	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食(ごまだれ豆腐どん、ぶどう) ・竹のはし&コップづくり ・おやつ(チュウチュウ) ・野外料理 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食(山賊むすび、から揚げ、ソーセージ) ・虚空蔵山下山 ・おやつ(スイカ) ・湖粹園入浴 ・野外料理 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食(ハンバーガー、フルーツジュース) ・木の葉のカルタ ・キャンプファイヤー準備 ・おやつ(アイスクリーム) ・野外料理 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食(おにぎり、照り焼きチキン、ソーセージ、きりもみ) ・自由時間
夜	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食(ビビンバ、わかめと貝柱のスープ) ・野外レクリエーション ・かけ湯 ・就寝(テント泊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食(キーマカレー、サラダ) ・キャンプファイヤー歌&レク練習 ・スタンプづくり ・就寝(室内泊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食 ・キャンプファイヤーリハーサル ・キャンプファイヤー ・かけ湯 ・就寝(室内泊) 	



始めの会



終わりの会

たいふうさんKIDS

1日目
8月7日
木曜日



もしかするとキャンプ中に台風十一号がやって来るかもしれない状況でしたが、三十一名の小学生がテントに寝たい、野外料理をしたい、キャンプファイヤーを楽しみたい等それぞれの希望を胸に自然体験キャンプにやって来ました。

キャンプ中は、なみ滝藤原園の野外活動施設が子どもたちのお家になります。まずはこの家での生活に欠かせない野外テーブル、調理台、寝床の準備から始めました。また、食事の時に使うはしとコップも手作りしました。

いつもは誰かに作ってもらっている食事、この日の昼ごはんから子どもたちが協力して用意しました。

夜は野外レクレーションのゲーム、歌、ダンスを楽しみました。

心配していた雨もたいしたことなく、念願のテント泊ができました。

みんなの手と手が集まると何でもできる



大きなテント張り、重いテーブルとベンチ運び、パーツがたくさんある調理台の組み立て、大変そうに見えることもみんなでやるとちゃんとできる。キャンプ生活はみんなの協力なしにはできません。チームワークを学ぶ大切な作業です。

手作りの味わい



孟宗竹を小刀で削ってはしを作り、ちょうどいい大きさに切った竹の外側を8角形になるよう鉦で落としてもらってコップを作りました。キャンプ中はいつも使っているはしとは姿形がちよっと違う、世界に一つしかないマイはしで食べました。三度の食事はできあいのものは極力使わず手作りしました。使った道具は終わったらきれいに片づけました。

喜びと感謝と敬いの心を持っていただきます



お昼は「ごまだれ豆腐うどん」、夜は「ビビンバ」と「わかめと貝柱のスープ」を作りました。キャンプに参加させてくれたお父さんお母さん、一緒に作った仲間、教えてくれた先生、料理に使った食材に感謝しておいしくいただきました。

1日の終わりは笑顔と笑い声



明日もがんばるぞー

たいふうさんKIDS

2日目
8月8日
金曜日



今日はキャンプ前半のメインイベント、虚空蔵山登山。天気予報ではお昼ごろから雨となっていました。九時半にスタートできれば一時には帰って来られるので急いで朝ごはんとお弁当を作りました。出発は予定より遅れ十時過ぎとなりましたが、一時間半で山頂に到着。子どもたちは頂上まで行けたこと、景色がきれいだったことに感動したようです。昼食中でしたが雨の降り出しとともに下山開始。雨足が強くなるまでに山を降りることができました。

雨もさほど強いわけではなく、寝ようと思えばもう一晩テント泊ができなくもなかったのですが、雨でテントサイトの地面の状態が悪くなっていたので、テントから部屋に移動しました。テントに寝たくてキャンプに参加した子どもが多かったのですが、一日だけでしたがテントに泊まれて何よりでした。

山道を一步一步踏みしめて頂上に立つ



登山口近くのミツバチの巣箱、色々な植物や生き物、自然の営みを感じながら虚空蔵山に登りました。虚空蔵山中腹の休憩場所では、タムシバ(ミント入りの歯磨き粉のような味)の葉をかんだりコシアブラの葉の形や名前の由来を学びました。頂上で綺麗な景色と朝作ったお弁当を堪能していたら、雨がポツポツ。食べかけのお弁当を持ってノンストップで下山しました。雨で冷えた体は湖粹園のお風呂で温めました。

室内へ移住



雨足も強くなり台風11号の動きも怪しくなってきたので、早めにテントから部屋に移りました。野外活動では早め早めの判断が大切です。

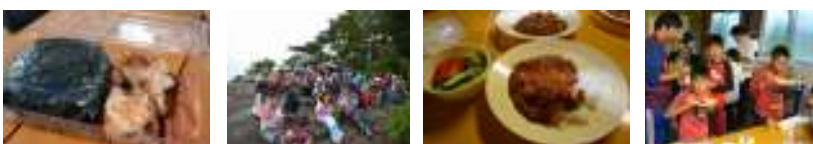
みんなで創るキャンプファイヤー



明日の夜のキャンプファイヤーは子どもたちが主役。「遠き山に日は落ちて」「燃えろよ燃えろ」「Believe」を大きな声で歌えるよう練習しました。スタンツ(班の出し物)で何をするかを、班の先生にアドバイスしてもらいながらみんなで考えました。

夕食から立ち食いに

朝、朝屋2食分作りしました。朝ごはんはご飯、味噌汁、野菜炒め、お昼は山賊むすび、唐揚げ、ソーセージ。夜はキーマカレーと野菜サラダを作りしました。食事をテーブルに運ぶと時雨で濡れてしまうので、晩ごはんから炊飯棟で立って食べることにしました。行儀は悪いけど、野外ではできることをやるのがベストです。



たいふうさんKIDS

3日目
8月9日
土曜日



台風がだんだん広島に近づいているのでしよう、雨は大したこ
とないのですが風が強くなって来ました。ネットで台風の進路
予想を見ると直撃を受ける可能性も出てきました。
釣りとかだ遊びを楽しむにキャンプに参加した子どもも多
かったようですが、さすがにこの天気では無理です。変わりに竹
トンボ作り」と「木の葉」のカルタをしました。
キャンプと言えばキャンプファイヤー。自然体験キャンプのフ
アイヤーは薪の代わりにランタンを使うので、どんな天気でもど
こでもできます。今回は炊飯棟でやりました。

ちよつと狭くて自由に動きまわることはできませんでしたが、皆の大きな声が炊飯棟に響き渡り、各班のスタンツも近くで見ることが出来る等、室内ならではの良さもありました。キャンプファイヤーを思う存分楽しんであとは、班ごとに蠟燭の火を囲んでキャンプを振り返りました。雨で大変だったこともきつと楽しい思い出になることでしょう。

みんなが主役



みんなでキャンプファイヤーを創ることで、子どもたちが3日間の活動を通して育んできた友情を確かめ深めることができます。ファイヤーの進行をするエールマスター、サブマスター、レクのリードをするレク係は西村先生とスタッフから猛特訓を受けて臨みました。神秘的な雰囲気の中「遠き山に火が落ちて」の歌が始まると聖火係が聖なる火を持って入場しました。営火長の話の後、ゲームや歌、レクダンスで盛り上がりチクサクコールで最高潮に。各班の班長がそれぞれ友情、勇気、情熱、思いやりについての誓いの言葉を述べ、Believeの合唱で終わりました。



ずうっと立ち食いだー



初日から風にあおられ、頭上をバタバタ泳いでいた巨大マンタ。夕方の強風で飛んでしまいました。



雨も台風も天気の一つ できることをやります



雨と風で終日、炊飯棟での活動となりました。小刀で竹を薄く削って作った竹トンボ、どこまで飛ばか競争しました。木の葉のカルタ。先生が持っているのと同じ葉っぱを



見つけて名前を当てる単純なゲームだけどとても盛り上がりました。

朝食は、サンドイッチ、米粉と牛乳を使ったコーンスープを作りました。昼食はハンバーガー。どんちゃんがま(ピザ窯)でスタッフが焼いたバーガーパンズに豆腐、麩、ひき肉を混ぜて作ったハンバーグと野菜炒めを挟んでできあがり。キャンプファイヤー前の夕食は、恒例の並滝なべ。毎食おいしくいただきました。

たいふうさんKIDS

4日目
8月10日
日曜日

心配していた台風は予想より東寄りの進路を通ったため直撃はまぬがれました。しかし午前三時ごろから猛烈な風が吹き、窓の向こうでは桜の木が狂ったように大暴れしていました。強い風は早朝まで続きましたがラジオ体操が始まる頃には穏やかになりました。

三泊四日のキャンプもいよいよ今日が最終日。四日間お世話になった調理用具と食器を奇麗に洗って片づけ、活動場所を各班で手分けして掃除しました。



終わりの会では、竹トンボ飛ばし大会の表彰とキャンプファイヤースタッツコンテストの結果発表がありました。台風の訪れと共に、なみ滝藤原園「にやって来てにぎやかに活動し、台風と共に去って行った子どもたち。彼らの雨風をもろともしない適応能力の高さに助けられた四日間でした。不便で不自由な自然の中で困難を乗り越えた子どもたちが立派な大人に育ってくれることを願っています。

さいご最後の大事な

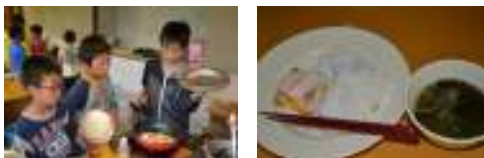


何回かこのキャンプに参加している子どもたちが忘れずに覚えていることのひとつが食器チェック。子どもたちが洗った調理用具と食器をスタッフが厳しくチェックします。1回でパスするのは不可能に近く、殆どがやり直しです。調理用具と食器を返却した後は休まずトイレ、お風呂、流し台、炊飯棟の掃除。テキパキやったのでほぼ予定の時間に終わりました。しっかり働いて喉がかわっていたのでしょうか、ご褒美のスイカにガブリつき。



ずうっと友だちさー

作るのにも立ち食いにも慣れました



いよいよ最後の野外料理。朝昼一緒に作りました。朝ごはんは、ご飯、ハムエッグ、味噌汁。お昼は、おにぎり、照り焼きチキン、ソーセージ、きゅうりもみ。ごはんも鍋で上手に炊けるようになりました。



終わりの会



2班の先生は...



わか別れを惜しんで



終わりの会では、竹トンボ飛ばし大会で1~3位になった人に賞品として西村先生お手製の竹トンボが贈られました。キャンプファイヤーのスタッツはどの班も素晴らしかったのですが、完成度の高さで2班が優勝しスイカ割り権を獲得しました。終わりの会終了後は久々の自由時間。子どもも学生も緊張から解放され、残り少なくなった滞在を思う存分楽しみました。

え

びの

し の が わった この
 し のと た かな いっ いの す
 という い い やっ きた
 の の に に かない の の しさが
 え う わえ かな う の
 づ のす ど たちがやり の お さんにならない
 す という に かつ
 が となっ えた
 ど ど たちと とした が
 す した と の つかり い
 の う の う ど たちが つの に かつ わせ こ
 とは みたい い はない けれど の が と そうし
 ど たちの が ち き おだやかな が き うになった つには な
 から な に きたこと つには
 などの し が えたりや が
 たりしたこと う つは や の し す
 ったことなどが きかったと わ ことに の
 になった ど たちは のうちに
 え え いなかった の
 えた だ いやがった ど たちが ぎりぎりま い んだら やりと
 げた らのや と かいまた がし しかった
 なんとっ の は ろう が した く き
 した お ど たち した そ に え
 た ど たち と くした ど たち の り い
 かだ びが なかった そのかわり りと と
 りが きた そ にし やりとげた ど たちに りたい
 ん た が っ きびしい の く ど
 たち え く た さらに は の さんについ らったこと
 が な さ ことながら に きな えになった
 きな え く た と ど たちと の さん さん
 の さんに から します